

第6回ニューフロンティアリサーチワークショップについて（実施報告書）

開催日時	2019年11月15日 14:00~19:30
場所	名城大学 天白キャンパス 共通講義棟東6F H-604 講義室
参加者	20名（内応用物理会員 20名）
開催目的	<p>本ワークショップでは、東海支部を中心に様々な研究分野の若手・中堅の研究者が集い、それぞれの研究内容や所有シーズの紹介を行う。本ワークショップを通して、次世代を担う研究者、技術者が情報交換や研究議論を行うことで、異分野交流を活性化し、新しい共同研究や相互支援の開拓、発展につなげることを目的とする。</p>
開催内容	<p>14:00-15:00 ラボツアーおよびノーベル賞展示室</p> <p>15:00-15:50 招待講演：名城大学・熊谷 慎也 先生 「プラズマオンチップ：大気圧プラズマを一細胞に照射してその機能を制御する試み」</p> <p>15:50-16:05 研究紹介：名古屋工業大学・宮川 鈴衣奈 先生</p> <p>16:05-16:25 休憩</p> <p>16:25-17:15 招待講演：名城大学・今井 大地 先生 「半導体レーザーに応用されている窒化物系混晶半導体の光学特性解析」</p> <p>17:15-17:30 研究紹介：東海エンジニアリングサービス・伊藤 公一 氏</p> <p>18:00-19:30 懇親会</p>
開催結果	<p>東海地区で活躍している中堅研究者による招待講演や東海地区若手チャプターの若手研究者による研究紹介を通して、最新成果や課題点が明確になるとともに、幅広い専門知識を有する聴講者らとの意見・情報交換を通じて、異分野の第一線で活躍している中堅・若手研究者との連携ネットワーク作りが着実に進展した。さらには、東海地区で活躍されている産業界の中堅研究者の参加もあり、中小企業からの関心も伺える。引き続き、積極的にワークショップを開催することで、東海地区若手・中堅研究者間における共同研究や相互支援の発展のみならず、東海地区産業界との連携・共同研究の開拓による異分野交流の活性化が期待できる。</p>